

## ケベック牛の輸入を開始

全頭検査と同等もしくはそれ以上の安全性を確保

株式会社ゼンショー（代表取締役会長兼社長：小川賢太郎 本社：東京都港区）は、ケベック牛の輸入を開始します。ゼンショーではこの牛肉について、全頭検査と同等もしくはそれ以上の安全性を確保できると判断しました。

10月29日に第一便が通関しました。ゼンショーでは安全で高品質なケベック牛を、今年末頃からグループの焼肉業態（「ぎゅあん」「宝島」など）で ご提供する予定です。

2003年に米国、カナダでBSEが発生しました。その後、2006年に両国から日本への輸入が再開された後も、ゼンショーではBSE発生国からの牛肉の輸入については全頭検査が必要と考え、両国からの牛肉の輸入を見送ってまいりました。

しかしゼンショーはカナダ・ケベック州の牛肉加工会社レビンオフ・コルベックス社と技術提携し、同社の牛肉について全頭検査と同等もしくはそれ以上の安全性を確保できると判断しました。

その安全性の根拠は以下の通りです。

- ① 牛の出生からと畜に至るまで、BSEの原因とされる肉骨粉はもちろん、牛脂も含む動物由来の飼料をいっさい与えていないことを確認できる個体のみを、加工・輸入します。
- ② 牛の出生からと畜に至るまで、一頭ごとの生産履歴を個体別のICタグで管理しています。
- ③ レビンオフ・コルベックス社の加工施設にゼンショーが自ら投資して専用ラインを設け、当社向けに輸出する肉はこの専用ラインで加工され、他の牛の肉が混入しないようになっています。

ゼンショーでは上記の①～③を徹底し、全頭検査と同等もしくはそれ以上の安全性を確保した高品質のケベック牛をお客様に提供してまいります。

以 上